

尾島図書館だより

No.245 2024.4

こどもの読書週間 4/23~5/12

『 ひらいてワクワク めくってドキドキ 』

子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）に誕生しました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日に期間を延長しました。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか……。

子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

毎年4月2日は国連の定めた世界自閉症啓発デー

発達障害啓発週間 4/2~4/8

自閉症の人たちが生活しやすい社会は、みんなが幸せに生活できる社会につながります。そのため日本では、4月2日から8日の一週間を、自閉症をはじめとする発達障害をみんなが知るための発達障害啓発週間としています。

自閉症・発達障害に関する書籍を集めた特設コーナーを設けました

『ASD<自閉症スペクトラム障害>、ADHD,LD 発達障害の子どもが持っている長所に気づいて、伸ばす本』

宮尾益知／河出書房新社

2024年「本屋大賞」4月10日発表!!

本屋大賞とは、全国の書店員さんが自分で読んで「面白かった」「お客様にも勧めたい」「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。

本屋大賞ノミネート作品

「黄色い家」 川上未映子／中央公論新社

「君が手にするはずだった黄金について」

小川哲／新潮社

「水車小屋のネネ」 津村記久子／毎日新聞出版

「スピノザの診察室」 夏川草介／水鈴社

「存在のすべてを」 塩田武士／朝日新聞出版

「成瀬は天下を取りに行く」

宮島未奈／新潮社

「放課後ミステリクラブ | 金魚の泳ぐプール事件」

知念実希人／ライツ社

「星を編む」 凧良ゆう／講談社

「リカバリー・カバヒコ」 青山美智子／光文社

「レーエンデ国物語」 多崎礼／講談社

4月の休館日

1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)26日(金)、29日(月)